

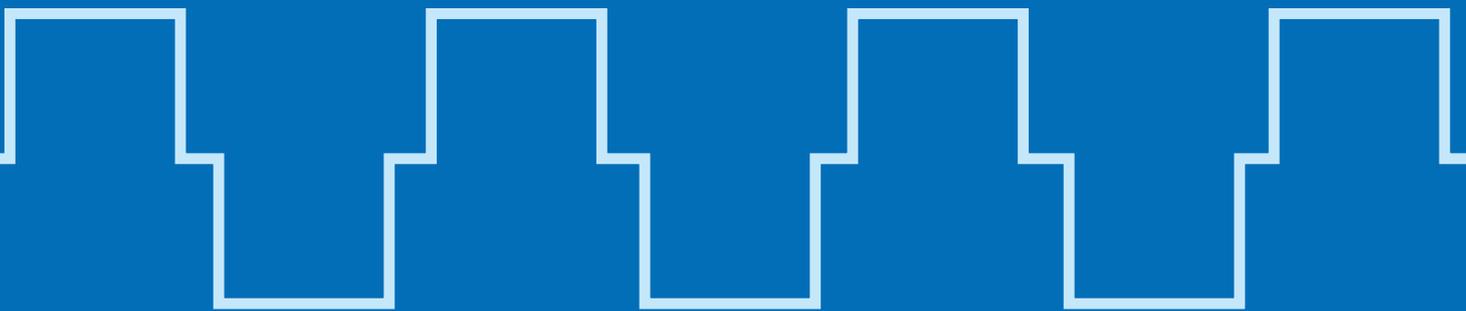
三重県のNPOを応援する情報誌 **リーダ-**

READER

2016

11

2016年10月25日発行
通巻215号

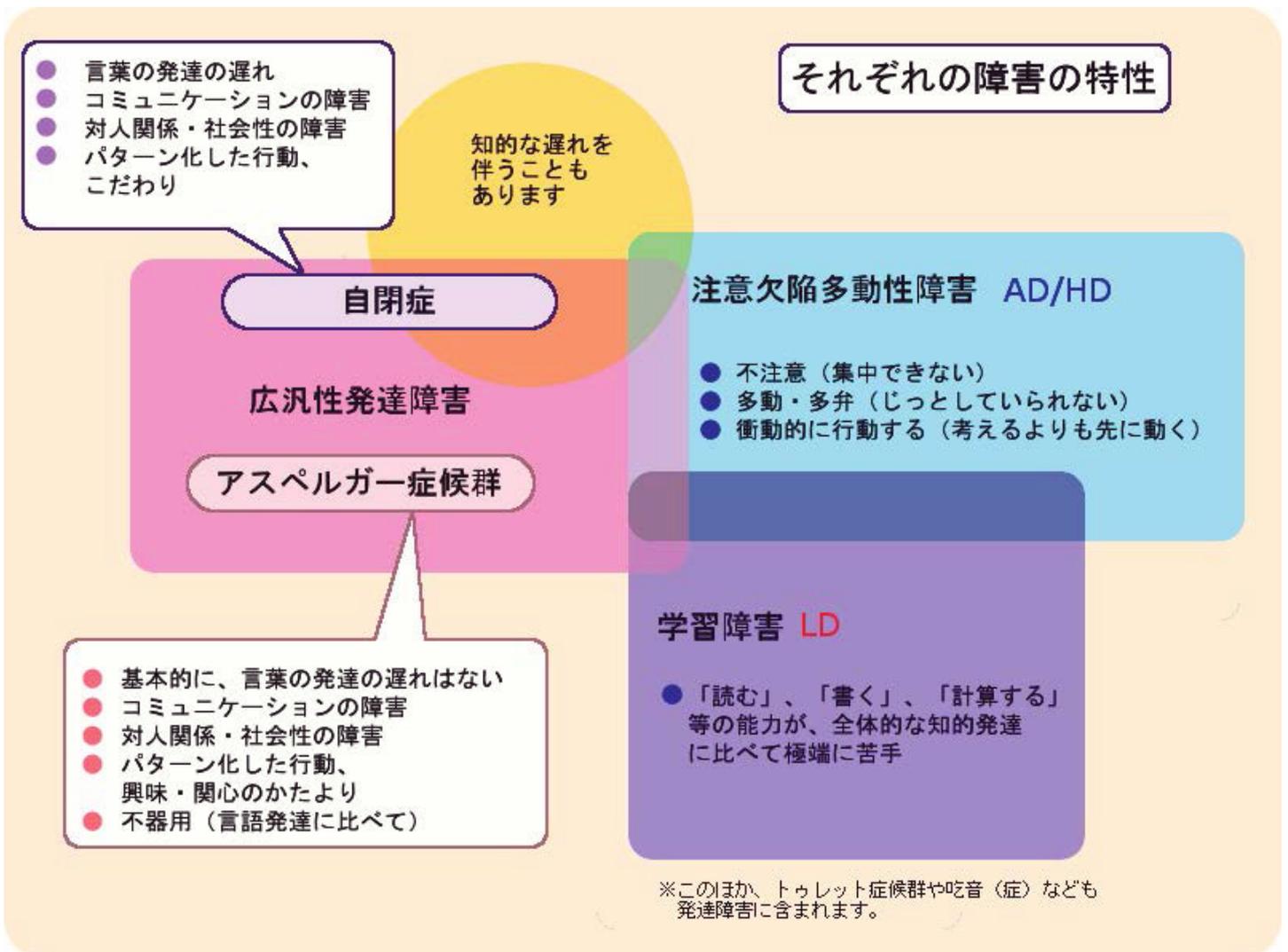


それぞれ違う 発達^{でこ}の凸凹^{ぼこ}

「発達障がい」という言葉がメディアでも話題に上がり注目される機会も増えましたが、実際にそれがどのようなものかということは、まだまだ理解されていないこともあり、当事者の生活や就労を困難にしているという現状があります。虐待、いじめなど、心の傷が加わることで、二次障がいとしてうつ病など精神面へ影響を及ぼす場合もあります。そのようなケースを避けるためにも、特性を知り、それぞれに合う適切な支援・教育をおこなうなど、周囲の正しい理解やサポートが重要です。

発達障がいを知る

発達障がい者支援法において「発達障がい」は『自閉症、アスペルガー症候群（AS）、その他の広汎性発達障がい（PDD）、学習障がい（LD）、注意欠陥多動性障がい（AD/HD）その他これに類する脳機能障がいであってその症状が通常低年齢において発現するもの』と定義されています。



これらのグループのように障がいの種類を明確に分けて診断することは大変難しいとされています。障がいごとの特徴がそれぞれ少しずつ重なり合っている場合も多いからです。また、年齢や環境により目立つ症状がちがってくるので、診断された時期により、診断名が異なることもあります。大事なことは、その人がどんなことができ、何が苦手なのか、どんな魅力があるのかといった「その人」に目を向けることです。

（発達障害情報・支援センター ホームページより）

ピカリンは三重県内の発達障がいの子をもつ親御さんたちが立ち上げた会で、NPO 法人アスペ・エルデの会の正会員団体です。NPO 法人アスペ・エルデの会は、東海4県を対象に発達障がい者を支援する活動を行っています。ピカリンが実施している子どもたちの学習会では、アスペ・エルデの会から発達障がいの専門家（ディレクター）・ボランティアスタッフ等が派遣され、アスペ・エルデの会が開発している子どもたちの療育や支援のプログラムを受けることができます。また、保護者の方も相談等の支援を受けることができます。今回は、子どもたちの学習会に参加させてもらい、アスペ・エルデの会ディレクター新谷 麻衣さんとボランティアスタッフさんにお話を伺いました。



10年前だと発達障がいは、しつけや心の病気だと言われていました。今もそういったことをいわれることもありますが、昨今の啓発効果もあってか、しつけの問題ではないということが、だいぶ広がってきていると思います。ですがインターネットなど一部の情報網ではセンセーショナルな事件や出来事の方が大きく報道されることもあり、そうしたことから「発達障がい」ということばが独り歩きしてしまい、偏ったイメージや色眼鏡でみられることを当事者の親御さんたちは心配しています。私たちは、活動の中では「発達障がい」ではなく「発達凸凹」と呼んでいます。自閉症スペクトラムの特徴を理解してもらいたいことですが、理解してもらった上で、凹もあれば凸もあるということを知ってほしいです。発達凸凹がある子たちのことを一部の情報で知り得た

事だけで決めつけず、ひとりひとり、何が苦手で何が得意なのか、実際にふれあってみて欲しいと思います。その上で、なにか自分と違うと思った時それを「異質」ではなく「ひとつの人のあり方」と考えてもらえるといいなと思います。

ピカリンでは、実際に子どもたちとふれ合い、学習支援などを行うボランティアスタッフを募集しています。具体的には、約2年間、毎月2回主に津市内での子どもたちとの実践的な関わりや専門家セミナーを通じて、発達障がいについて学ぶ事の出来るボランティアスクールに参加して下さる方を募集しています。ボランティアをすることで、発達障がいをより理解し、専門的な知識と経験を得る事が出来ます。教育、保育、福祉、医療職を目指す学生さんが多数参加されています。

●ボランティアに関する問合せ先

ホームページ <http://www.as-japan.jp/j/file/volunteer/index.html>

メールアドレス borasuta55@as-japan.jp

「和がや」は発達障がいと思われる方を支える家族を対象に支援を行っています。月1回の家族会では、当事者本人の特性を理解するための勉強会や、家族はどう関わっていくべきなのか語り合う時間を設けたり、元気に楽しく生活していくため参加者同士が楽しみを共有できる企画等を実施したりしています。現在の活動に至るまでのお話を「和がや」の代表福地 幸（みゆき）さんに伺いました。



私は、結婚するまで「発達障がい」の特性について知る機会はありませんでした。結婚後、十数年間、家族の中でさまざまな問題が起こっていましたが、なぜその問題が起こるのだろう？と思っても発達障がいに結びつくことはありませんでした。4年前に主人がお金がらみの依存症問題を起こし、それをきっかけに主人はなぜ依存症になったのかの原因を知りたく、依存症に纏わる家族会やこころの医療センター等を利用しました。県内外さまざまな機関で相談する中で行きついた原因は、主人が起こす問題の根底には発達障がいがあり、二次障がいによって依存症症状がでてきているということでした。そのとき初めて発達障がいについて知り、主人の特性を知る、受け入れることを始めました。受け入れることで今まで主人を責めていた気持ちが楽になり、これからどうしていこうかと

考えられるようになりました。そして、発達障がいのケアには、まず家族が当事者本人の特性を知り安心した生活が送れるようサポートすること、家族も自分の人生を楽しむことが大切だと思い、発達障がいを持つ家族の支援活動をはじめました。今後は、福地家で起こった問題や、その問題をどうやって解決してきたかなど、主人と一緒に講演活動を行い、発達障がいについて知ってもらえる機会をつくっていきたくです。

◆発達障がいの家族をもつ家族会 和がや 定例勉強会

場 所：ゆめぼりすセンター内

日 時：毎月第3土曜日 13:00~15:00

参加費：500円

※月によって変更する場合があります。

連絡先：福地 幸（みゆき）（和がや代表） 090-4162-0266

ご家族のどなたかが、「気持ちが通じない」「他の人と何かが違う」「対人関係が苦手」「集団行動・人ごみが苦手」「抽象表現の理解が苦手」「柔軟な対応・臨機応変が出来ない」「場の空気が読めない」「自分流のルールにこだわる」「音・臭い・味・感触に過敏」「特定の物事にこだわる」「自分の思い通りにいかないとパニックを起こす」「話しかけても反応しない時がある」「1番にこだわる」「身体接触を嫌がる」・・・などの状態でお悩みの方を対象にした家族会です。発達障がいと診断されている方もされていない方も、ご参加いただけます。

三重ぐるり

MIEGURURI

「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月号のテーマは「障がい者支援」。日ごろ障がい者支援に関わる活動をしている団体を、県内の市民活動センターから紹介していただきました。

社会福祉法人 あじさいの家

情報提供：みえきた市民活動センター

〒511-0426 いなべ市北勢町其原 784-1 ☎0594-82-0301 ✉ajisaie@m2.cty-net.ne.jp



普段の創作活動

あじさいの家は、重度の障がいのある方が日中の活動を行うために通所している施設です。生活面（移動、食事や排せつなど）では介助の必要な方ばかりですが、毎日笑顔のあふれる場を目標としています。重度、それも最重度と呼ばれる障がいの程度の重い方たちの通っている施設は、誰かの介助を受ける事が目的のように思われがちですが、あじさいの家ではそれを目的にしているわけではありません。確かに日常生活を送る上で介助は必要ですが、そのことよりも一人ひとりが『自分らしく生きる』ことを大切にしています。ですから毎日の活動はいろいろなことに取り組んでいます。

通所されている利用者のことは『なかま』と呼び、スタッフはお世話する人ではなく、同じ空間、時間を共有する『なかま』の一員という立場で接しています。

『なかま』の活動としては、創作活動、身体活動、音楽活動、訓練、作業的活動などおもに施設内で行う活動と、外出（個別や全員など）や宿泊体験、いろいろな行事やイベントへの参加など幅広く取り組んでいます。

ぜひ一度お立ち寄りいただき『なかま』と一緒に過ごしてみませんか？

ブラックライトを使った人形劇では、制作から出演までみんなで取り組み、いなべ市の保育園を中心に、県のイベントなどでも積極的に参加しています。今後もお声をかけていただければ人形劇の上演を行っていきたいと思います。

Confeito ～こんぺいとう～

情報提供：市民ネットワークすずかのぶどう

✉sas.tanpopo@gmail.com



発達障がいの疑似体験を子どもたちに説明している様子

こんぺいとうは自閉症スペクトラムの子どもを持つ親たちが、わが子の困難な部分を知り、理解を深め、お互いの工夫などを持ち寄り少しずつ解決していったり、子どもたちが将来少しでも楽しくコミュニケーションできて、自立して生活をするためにはどうしたらよいかを和気あいあいと勉強しあう会です。

啓発活動として、発達障がいの疑似体験を学校などに出向いてしています。

まずはメールにてお願いします (^_^)v

会として発足してから早いもので14年になります。乳児期、幼児期、学齢期の経験、体験をお話ししながら子育てのヒントが一つでも見つければ良いなとおもいます。お気軽にご参加ください。

特定非営利活動法人 工房 ゆう

情報提供：津市市民活動センター

〒514-0834 津市大倉 10-25 (JR 阿漕駅から徒歩 3 分) ☎ 059-271-6266 (同 fax) ✉ koboyuu1025@yahoo.co.jp



学童保育での出前体験織り

工房ゆうの《ゆう》は、人と人とをむすぶ《結》。自由で遊びごころたっぷりな手織りである『さをり織り』を通じて、障がいのある人もない人も共に、地域で力を合わせて生きていける社会をめざします。

私たちが織った『さをり織り』は、マフラーや服となって《カラダ》を守り、パンケースやポーチとなって《モノ》を守ります。そして、マスコットやブローチとなって《ココロ》を守ります。

昨年 12 月から、東急ハンズ名古屋店にてブランド M.I.E の販売が始まりました。『工房ゆう』からは、畳織りコースター・カルトナーージュボックス・春夏ストールなどを出品しています。(三重県内の 5 事業所が、三重県雇用経済部雇用対策課障がい者・女性雇用班と、東急ハンズ名古屋店の協力を得て立ち上げたブランドです。)

だれでも・自由に・自分のペースで『さをり織り』を楽しもう!

『さをり織り』の販売などを行うことで、障がい者の自立を目指しています。さまざまな場所で展示・販売を行っています。ご購入はもちろん販売させていただける場所も募集しています。

情報提供：松阪市市民活動センター

こども在宅とりハビリテーション・ケアについて考える会

☎ 090-5537-6717 (代表・小山さん) ✉ goyama@yahoo.co.jp



交流会

障がいのある子(主に医療的ケアが必要な障がいのある子ども)への理解を深め、地域全体で支え合える社会をつくろうと今年 8 月から活動しています。医療的ケアとは、生きる上で必要な医療援助のこと。例えば、気管に溜まった痰を吸引する「痰吸引」などが当てはまります。実は近年、医療的ケアが必要な子どもが増えてきているといわれています。同会では、まずそのような子の在宅での生活の現状を把握したいと、当事者・その親・特別支援学校の先生などに話を聴き、関連する研修会へ参加してきました。そして、看護師などの専門スタッフが必要であるため、医療的ケアが必要な子どもを受け入れられる施設が非常に限られること、家族の介護負担の大きさ、地域社会との接点が少ないという課題を知りました。そこで 9 月より障がいのある子(主に医療的ケア児)に関する自主勉強会や障がい児者との交流会をスタート。今後も当事者やその家族と地域をつなげる活動に取り組んでいきます。

勉強会・交流会への参加者、また事業を一緒に企画・運営するメンバーを募集しています。詳しくは、電話かメールでお問合せください。

勉強会は、当事者はもちろん、地域の人も誰でも参加できるオープンな会です。交流会ではスポーツや BBQ などを企画し、障がいがあっても「できる」「楽しめる」体験を通じて、社会参画のきっかけにつなげていきます。

NPO 法人南勢子どもの発達支援センターえがお

情報提供：いせ市民活動センター

〒516-0016 伊勢市神田久志本町 1718-16 ☎ 0596-65-7039 ✉ npo-egao@egao-nanseri.com



年 1 回行われるえがおフェスティバル

NPO 法人南勢子どもの発達支援センターえがおでは、障がいがあったり発達が気になったりする子どもたちに対して、療育や訓練等を通じて支援を行っています。中心的な活動は、障がい児通所支援事業で、就学までの小さい子どもの支援を行う児童発達支援と、小学生から高校生までの子どもの支援を行う放課後等デイサービスを行っています。それぞれのサービスの中で、個別の療育やグループの療育、個別言語訓練やグループ言語訓練を行っており、「子どもたちが自分の力を発揮し、『やったー。』『できた!』『また、やりたい』といった気持ちを持つように、子どもたちと支援者との楽しいやりとりや関わりを大切にしながら活動を行っています。

また毎月第 2 土曜日には、集団療育活動を行っており、支援者やボランティアさんと一緒に、製作活動をしたり、運動をしたり、調理や外出などの活動を通して、余暇支援や自己実現につながる支援を行っています。

Eメール、電話等でご連絡ください。

NPO 法人南勢子どもの発達支援センターえがおは、「子どもがえがおになれるような楽しい場」をモットーに、日々子どもたちと楽しく関わっています。

募集とご案内

2016年三重映画フェスティバル 東アジア『名作戦争映画』上映会 ベトナム・日本

ベトナムと日本の戦争映画の秀作2本です。どちらも理不尽な国家間の争いにより、犠牲になった人々の姿をリアルに描いたものです。この映画は、皆さんに何らかの示唆を与えるものと確信していますので、是非ご鑑賞ください。

日時 2016年11月3日(木・祝)

午前の部

『Don't Burn ～トゥイーの日記を燃やすな～』

ベトナム戦争1970年のある戦場の出来事から始まった実話に基づく映画です(2009年ベトナム映画 日本語字幕版)。

- 9:30 開場 10:00 開演 (10:10 上映 12:30 終演)
- 入場無料

午後の部

『軍旗はためく下に』 & 長田 紀生トーク (四日市出身脚本家・映画監督)

戦場の夫の最後に不審を抱いた妻が真実を求めて欺瞞を解き明かしていきます(1972年日本映画)。

- 12:30 開場 13:00 開演 (13:10 上映)
15:00 長田 紀生トーク (16:00 閉会)
- 入場料500円(アセアン出身者入場料無料 招待チケット必要)

場所 四日市文化会館第2ホール

主催 三重映画フェスティバル実行委員会・シネマ游人 yokkaichi

問合せ先 電話: 059-365-9578

チケット取扱 四日市市文化会館窓口(月曜休館)

電話 059-354-4501

「クラウドファンディング ワークショップ」を開催します

クラウドファンディングの活用に向けた参加型のワークショップを開催します。第一部では、クラウドファンディング運営事業者による仕組みの説明のほか、実際に挑戦された方からお話を伺います。第二部では、グループ毎にプロジェクトを企画立案し、お互いに評価し合うことで、より共感を得るプロジェクト作成のコツを学びます。

日時 2016年11月9日(水) 14:00～16:30

場所 三重県伊勢庁舎 403 会議室 (伊勢市勢田町628-2)

場所 NPO法人、中小企業事業者、商工団体職員、金融機関、学生、クラウドファンディングにご興味のある方

募集人員 30名(申込先着順)

参加費 無料

申込方法 EメールまたはFAXに①企業名・団体名、②住所所在地、③名前、④電話番号、⑤FAX番号またはメールアドレス を記入し、三重県雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課までお申し込みください。

申込締切 2016年11月1日(火)

問合せ先 三重県雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課

サービス産業創出班 小海途(こがいと)・福井

電話 059-224-2227 **FAX** 059-224-2078

メール shinsan@pref.mie.jp

ジュニアスポーツ選手の栄養について

国際大会でメダルを取るような選手たちは、地道なトレーニングを日々積み重ねて強くなっています。食事と同じです。日々何を食べてきたかの結果として体が変わってきます。トレーニングと食事はまさに車の両輪。それだけに、しっかり体をつくらなければならない成長期のジュニアアスリートにこそ、食事に対する基本的な考え方を身につけてもらいたいと思います。

日時 2016年11月19日(土) 13:30～15:30

場所 アストホール(アスト津4階)

講師 田口 素子氏(早稲田大学スポーツ栄養研究所所長)

参加費 無料

応募方法 下記の申込先に、郵送、電話、FAX、Eメールのいずれかの方法で、希望する講座名、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をご連絡ください(先着順)。

問合せ先 三重短期大学 地域連携センター

電話 059-232-2341 **FAX** 059-232-9647

メール 232-2341@city.tsu.lg.jp

こどもまち一丁目 ～子どもだけで築くまち～

やりたいお店をみんな決めて、当日には実際にお店を運営し、働くこと、お給料をもらうこと、仲間と協力することを遊びながら学びます。当日参加OKです。

日時 2016年11月23日(水・祝) 11:00～16:00

場所 三重県総合文化センター 男女共同参画センター 多目的ホール

参加費 200円

※事前予約の方、のびすく会員の方は100円

申込方法 FAXまたはEメールまたは、直接お電話にてお申し込みください。

問合せ先 特定非営利活動法人世界 SHIEN こども学校のびすく

電話 059-253-3130 **FAX** 059-253-3132

メール info@nobisuku.info

INFORMATION

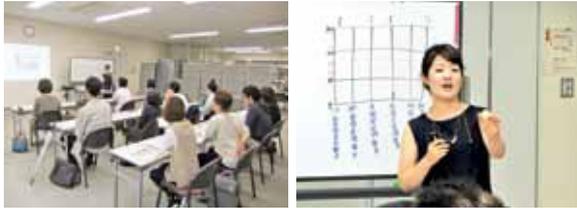
みえ市民活動ボランティアセンター
からのお知らせ

SHO ガッコウ ～第4回講座報告と第5回講座のお知らせ～

10月1日に第4回講座「暮らしと心を整える」が終了しました！ゲストの加藤 千春さんに、心理分析を用いた自分にあった片付け方法を教えていただきました。ユーモアを交えた楽しい講座で、参加者の満足度も高かったです！

次回、第5回は11月15日（火）に開催します。詳細はHPをチェック！

<http://mieshoggakkou.jimdo.com/>



～参加者募集中！～

日時 2016年11月15日（火）19:00～21:00

テーマ 『変わる!!本気のインターン!』

ゲスト 一般社団法人わくわくスイッチ
代表取り締まれ役 中村 憲和 さん

場所 みえ県民交流センター（三重県津市羽所町700 アスト津3階）

対象 ①三重県に在住または通学・通勤している18～35歳くらいの人
②若者の自主性を尊重した応援をしたい36歳以上の方
③テーマに興味のある方

参加費 500円（SHO ガッコウメンバーは無料）

申込方法 ①お名前、②年齢、③お電話番号をメール（mieshoggakko@yahoo.co.jp宛、件名に申込講座テーマを記入してください）にてお送りください。

※ SHO ガッコウは、三重の若者同士がつながり、1人1人の個性が認められ、周りの目を気にすることなく自分の夢を語り、それに向かって進むことができる社会の実現に向け活動を行っています。毎月1回勉強会を実施し、普段出会う機会がない人たちとつながるきっかけをつくります。メンバーは随時募集中！当日申込も可能です！

問合せ先 SHO ガッコウ事務局

TEL 059-222-5995

FAX 059-222-5971

HP <http://mieshoggakkou.jimdo.com/>

✉ mieshoggakko@yahoo.co.jp



グレードアップセミナーを開催します！

中間支援組織のスタッフやNPO法人のスキルアップを目的としたグレードアップセミナーを11月17日（木）19:00より開催します。日本政策金融公庫、三重県信用保証協会の方を講師にお迎えし、「金融機関の「力」の引き出し方」について学びます。ぜひご参加ください。

日時 2016年11月17日（木）19:00～21:00
三重ソーシャルビジネス支援ネットワーク共催

場所 みえ県民交流センター（アスト津3階）

問合せ先 みえ市民活動ボランティアセンター
〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3階

TEL 059-222-5995 **FAX** 059-222-5971

✉ center@mienpo.net



多文化共生理解イベント Hand in Hand 2016 『五感で楽しむ国際交流』

毎年行っている多文化共生理解イベント。今年は「五感で楽しむ」をテーマに、国籍も年齢も関係なくみんなが「触って・見て・聞いて・味わって・嗅いで」楽しめるブースやステージが盛りだくさんです！

日時 2016年12月4日（日）
13:00～16:30（受付12:30～）

場所 みえ県民交流センター（アスト津3階）

参加費 無料（一部販売品は有料です。）

問合せ先 みえ市民活動ボランティアセンター

次世代育成のためのNPO応援基金

寄付先
募集中

☆総額100万円!使い道は自由です!

応募資格 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「次世代育成支援」に関する活動を行っているNPOであること（NPO法人のほか、公共的な活動を目的とする法人や任意団体などを含みます）

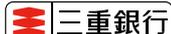
応募締切 11月14日（月）<消印有効>

選考方法 書類、プレゼン選考により寄付総額100万円を上限として各団体に配分

詳しくは
ホームページで

【お問い合わせ先】
株式会社三重銀総研 調査部
TEL:(059)354-7102(担当 畑中)
URL:<http://www.miebank.co.jp/mir/>

地域とともに みなさまとともに



三重県の新名物

伊勢おやき本舗



年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店

イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪栄町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

- ① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

TOTO 第 12 回 TOTO 水環境基金助成

- ① 11 月 15 日 (火) 当日消印有効 ② 水環境や生物多様性の保全・再生、CO₂ 削減など地球環境保全活動に取り組む市民活動団体 ③ 1 件の上限 300 万円 (総額約 5,400 万円) ※「海外助成」も同時募集中

防災教育チャレンジプラン 2017 年度防災教育チャレンジプラン募集

- ① 11 月 25 日 (金) 15:00 必着
② 防災教育を一層充実させるための活動に取り組む NPO 団体、社会福祉施設、地域団体等
③ 1 件の上限 30 万円 (査定による)

国立青少年教育振興機構 平成 29 年度子どもゆめ基金助成金／子どもの体験活動・読書活動

- ① 11 月 29 日 (火) 必着 ② 子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む NPO 法人等
③ 1 件の上限 50 万円 (市区町村規模の目安)

朝日新聞文化財団 芸術活動への助成

- ① 11 月 30 日 (水) WEB 申請必着 ② 音楽会、美術展覧会等、文化、芸術等の発展向上に取り組む NPO 団体、個人等
③ 1 件の上限 10 万円～100 万円 (総額 2,500 万円)

ヤマト福祉財団 平成 29 年度 福祉助成金

- ① 11 月 30 日 (水) 当日消印有効 ② 障がい者に関する会議・講演会・研修・出版・啓発・調査・研究・スポーツ・文化の事業等に取り組む施設、団体
③ 1 件の上限 100 万円 (総額 500 万円) ※「障がい者給料増額支援」も同時募集中

ゆうちょ財団 平成 29 年度 金融相談等活動助成事業

- ① 12 月 5 日 (月) 必着 ② 高齢者及び大規模災害の被災者ならびに障がいのある人等を対象とした金融相談及び金融教育等に取り組む NPO 法人等 ③ 1 件の上限 10 万円

セブン・イレブン記念財団 2017 年度 環境市民活動助成

- ① 12 月 10 日 (土) 当日消印有効 ② 環境活動に取り組む NPO 団体、ボランティア団体等
③ 「活動助成」: 1 件の上限 50 万円～100 万円 (総額 1 億円)、「NPO 基盤強化助成」: 1 件の上限 400 万円 (6 団体)、「緑化植花助成」: 1 件の上限 40 万円 (総額 2,000 万円)、「清掃助成」: 1 件の上限 20 万円 (総額 600 万円)

スタッフルーム

朝晩が涼しくなり、ようやく秋の気配を感じられるようになりました。この時期、過ごしやすく気持ちが良いのですが、出かける際の服装にとても悩みます。朝が寒いので長袖で出かけたら昼間はとても暑かったり。昼間暑いと思って薄着で出かけたら夜は肌寒かったり。判断に迷うし、荷物も増えるし面倒ではありますが、季節を感じられておもしろくもあります。四季がある日本ならではの悩みでしょうか。

さて、秋と言えば、食べ物、スポーツ、読書などたくさんの楽しみがありますね。私はもともと読書好きなのですが、最近は他にしたいことがたくさんあって、なかなか落ち着いて本を開いている時間がありません。もっぱら食欲、思い出した頃に軽く運動・・・の秋です。秋の夜長に、久しぶりにどっぷりと本の世界に浸りたくなりました。(中林)

認定した 特定非営利活動法人 (2016 年 9 月 10 日～2016 年 10 月 9 日認定分)

- ① 特定非営利活動法人 太陽の家
② 桑名市大字東 1897 番地サニーコート B 棟 201 号
③ 保健、子ども
④ 2016 年 9 月 15 日
⑤ 理事 対馬 あさみ

- ① 特定非営利活動法人 みえ減災啓発支援ネット
② 四日市市蔵町 4 番 17 号 四日市市なやプラザ
③ 保健、社会教育、まちづくり、環境、災害、地域安全、男女、子ども、情報化社会、地域防災活動
④ 2016 年 9 月 27 日
⑤ 代表理事 加藤 昌弘

- ① 法人名 ② 主たる事務所の所在地
③ 活動分野 ④ 認定年月日 ⑤ 代表者



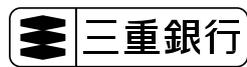
転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

READER はこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター
【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会
【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下 JA バンク各店/メディカル光各調剤薬局
【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南)/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



株式会社 阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。